

# 安全な速度と車間距離



## 1 最高速度 (法22、令11・12)

### 1 最高速度の遵守














車は法定速度及び規制速度を超えて運転してはいけません。



「小型特殊自動車」は、構造上15km/hを超える速度を出すことができません。  
 「緊急自動車」を、緊急用務で運転するときの最高速度は、80km/hです。  
 「普通自動車である農業用薬剤散布車」は、構造上35km/hを超える速度を出すことができないものがあります。

### 2 法定速度


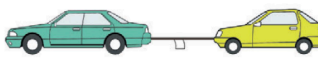
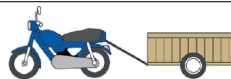
標識や標示で指定されていないときは、車の種類によって定められている速度（法定速度）を超えて運転してはいけません。

区 分							最高速度 (km/h)
大型乗用自動車 	大型貨物自動車 	中型乗用自動車 	中型貨物自動車 	準中型自動車 	普通乗用自動車 	普通貨物自動車 	60
660cc以下の普通自動車 	ミニカー 	けん引車(トレーラー) 	大型自動二輪車 普通自動二輪車 	大型特殊自動車 			
原動機付自転車 							30

## Research

より深く...

### 「他の車をけん引する場合の最高速度」

他の車をけん引する場合	最高速度 (km/h)
車両総重量が2000kg以下の車を、その3倍以上の車両総重量の車でけん引するとき。 	40
上欄、下欄以外のとき。 	30
125cc以下の普通自動二輪車や原動機付自転車が他の車をけん引するとき。 	25

### 3 規制速度

- ① 自動車を運転する場合は、標識や標示によって示されている最高速度を超えて運転してはいけません。
- ② 原動機付自転車を運転する場合は、時速30キロメートルを超えて運転してはいけません。標識や標示によって時速30キロメートル以下の最高速度が示されているときは、その最高速度を超えて運転してはいけません。
- ③ 補助標識により特定の種類の車両に限って最高速度が指定されている場合は、その種類の車両はその速度を超えて運転してはいけません。

◆自動車の最高速度は50km/h  
原付車の最高速度は30km/h



◆自動車と原付車の最高速度は20km/h



◆大型貨物自動車と特定中型貨物自動車、大型特殊自動車の最高速度は50km/h



### セーフティエチケット

#### 速度を守って

自動車は、便利な乗り物ですが、速度を守って安全な運転をしないと歩行者にとって脅威を与えるものになります。

「車は、すぐに止まれない」といいます。人が道路脇から飛び出しても、すぐに止まれるように、速度を守って運転をしてください。

それがドライバーの義務なのではないでしょうか。

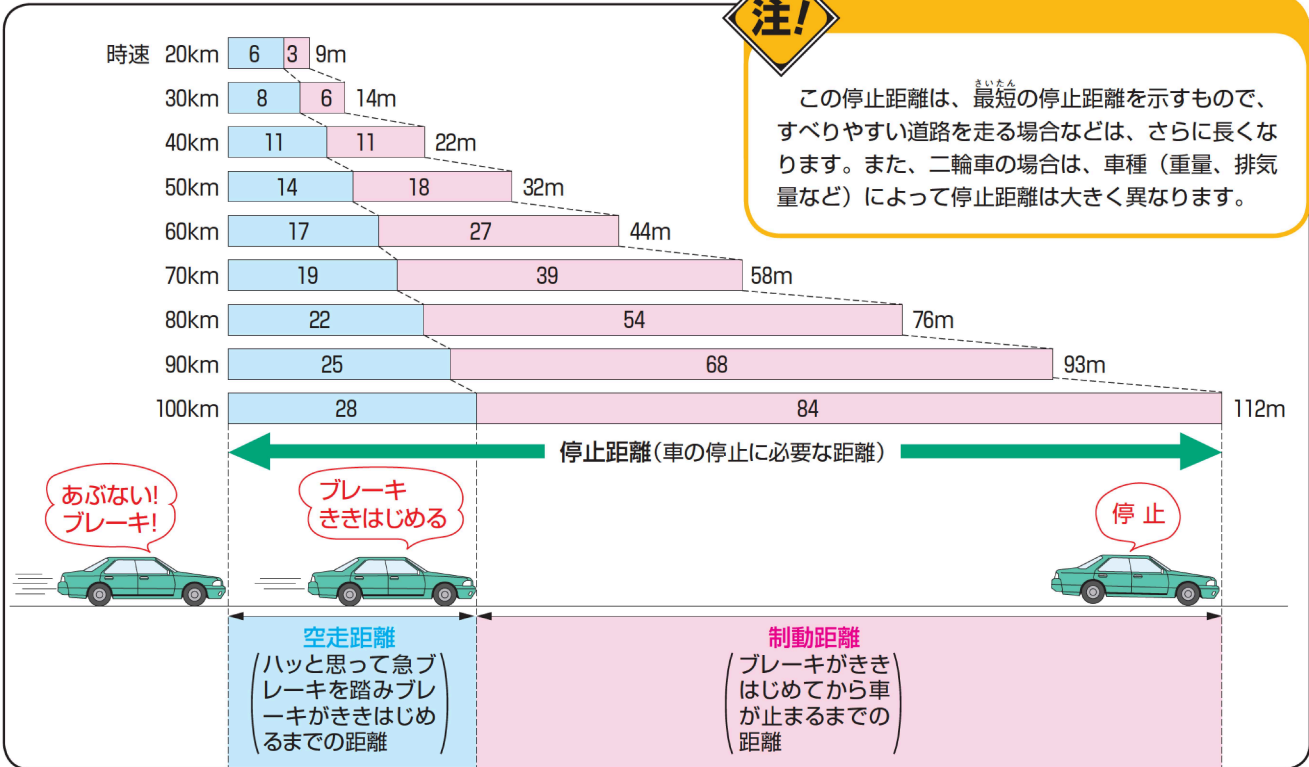
## 2 速度と停止距離

- ① 車は、急に止まれません。停止するまでには、運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にききはじめるまでの間に車が走る距離（空走距離）と、ブレーキがききはじめてから車が停止するまでの距離（制動距離）とを合わせた距離（停止距離）を必要とします。  
この停止距離を考えて、危険が発生した場合でも、安全に停止できるような速度で運転しましょう。
- ② 運転者が疲れているときは、危険を認知して判断するまでに時間がかかるので、空走距離は長くなります。また、雨にぬれた道路を走る場合や重い荷物を積んでいる場合などは制動距離が長くなります。
- ③ 路面が雨にぬれ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態が良い場合に比べて2倍程度に延びることがあります。また、下り坂では、こう配の度合いによって、停止距離は長くなります。

◆停止距離（普通乗用自動車の場合）



この停止距離は、最短の停止距離を示すもので、すべりやすい道路を走る場合などは、さらに長くなります。また、二輪車の場合は、車種（重量、排気量など）によって停止距離は大きく異なります。



### ③ 安全な速度と車間距離 (法26・70)

決められた速度の範囲内であっても、道路や交通の状況、天候や視界などをよく考えて、安全な速度で走りましょう。

また、天候、路面やタイヤの状態、荷物の重さなどを考えに入れ、前の車が急に止まっても、これに追突しないような安全な車間距離をとらなければなりません。



#### Research

より深く...

#### 「安全な車間距離」

停止距離を目安にして考えましょう。なお、大型自動車、中型自動車及び準中型自動車は、普通自動車に比べ、運転席の位置が高く、見下ろす形になり、車間距離が実際より長く感じられるため、車間距離が短くなりやすいので注意しましょう。

#### セーフティエチケット

##### 一瞬の脇見

ほんの一瞬、カーナビや携帯電話に気をとられ、脇見をした瞬間に車はどれだけ進むか知っていますか？

車間距離をとっていないと、前の車のブレーキにも対応できずに、一瞬で追突事故を起こしてしまいます。

常に車間距離を意識して通行しましょう。

車が1秒間に進む距離

時速40Km



ほんの一瞬でも、これだけ車は進みます。

時速60Km



時速80Km



時速100Km



## ④ ブレーキのかけ方(法24)

### 1 四輪車の場合

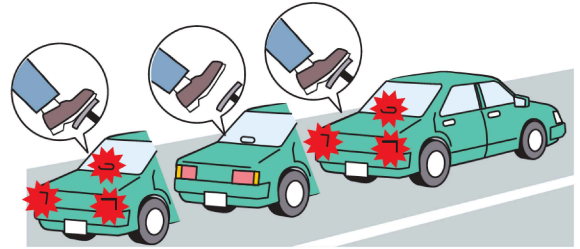
ブレーキは、次の注意に従って上手にかけましょう。

- ① 最初はできるだけ軽く踏みこみ、それから必要な強さまで徐々に踏みこんでいきます（ブレーキがききはじめているか、確認しながら行いましょう。）。
- ② ブレーキは数回に分けて使しましょう。  
この方法は、道路がすべりやすい状態のときには、とりわけ効果的です。  
また、数回に分けて使えば（ポンピングブレーキ）、ブレーキ灯が点滅し、後車への合図となって追突事故防止に役立ちます。
- ③ 雪道などのすべりやすい道路では、車輪をロックさせないよう、早めにソフトブレーキを使いましょう。

### Research より深く…

#### 「車輪がロックしたときの危険性」

雪道などのすべりやすい道路で急ブレーキをかけると、車輪がロックされ、ハンドル操作ができなくなり、場合によってはスピンしてしまい、大変危険です。



### Research より深く…

#### 「ABS（アンチロック・ブレーキ・システム） 装備車のブレーキのかけ方」

ABSとは、急制動の際、コンピュータの制御で、車輪ロックを防止するシステムです。

急ブレーキを踏んでも車輪がロックされず、ハンドルでの進路修正も可能で、冬道などのすべりやすい路面には、とても有効なシステムです。

ABS装備車は、急ブレーキをかけたときは、ペダルが小刻みに動くことがあります。そのまま踏み続けるようにしましょう。

また、雪道などすべりやすい路面状態でも、ポンピングブレーキではなく、踏み続けていないとABSの機能が正しく作動しないので注意しましょう。

### 2 二輪車の場合

#### 1 方法

ブレーキのかけ方には次の3つがあります。

- ① ブレーキレバーを使う前輪ブレーキ
- ② ブレーキペダル又はブレーキレバーを使う後輪ブレーキ
- ③ スロットル（アクセル）の戻し又はシフトダウン（低速ギアに入れること。）によるエンジンブレーキ

原動機付自転車には、前・後輪ともにブレーキレバーで操作するものもあります。

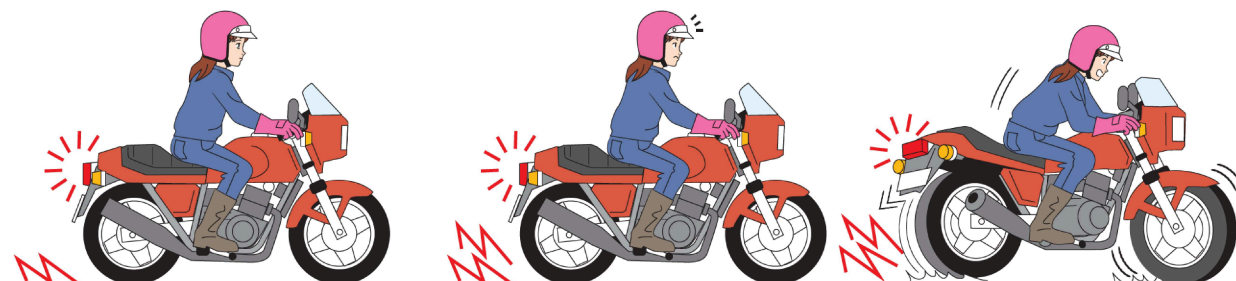
## 2 ブレーキをかけるときの注意

- ① ブレーキをかけるときは、車体を垂直に保ち、ハンドルを切らない状態で、エンジンブレーキをきかせながら前後輪のブレーキを同時にかけましょう。このとき乗車姿勢を正しく保たないと前のめりになります。
- ② 乾燥した路面でブレーキをかけるときは、前輪ブレーキをやや強く、路面が滑りやすいときは、後輪ブレーキをやや強くかけましょう。
- ③ エンジンブレーキは、低速ギアになるほど制動力が大きくなります。しかし、ギアをいきなり高速からローに入れるとエンジンを傷めたり、転倒したりするおそれがありますので、順序よくシフトダウンしましょう。
- ④ 急ブレーキをかけると、車輪の回転が止まり、横すべりを起こす原因になります。ブレーキは数回に分けて使しましょう。

後輪ブレーキだけかけると……

ロックしやすい。

横すべり！



制動距離は、長くなる。

前輪ブレーキだけかけると……

前のめりになる。

ロックすると転倒しやすい。



制動距離は、後輪ブレーキだけより短くなる。

## 3 急ブレーキの禁止

- ① 危険を避けるためにやむを得ない場合のほかは、急ブレーキをかけてはいけません。

なお、アンチロックブレーキシステムを備えた自動車では急ブレーキをかける場合には、システムを作動させるために、一気に強く踏み込み、そのまま踏み続けることが必要です。

- ② むやみにブレーキを使わず、なるべくアクセルの操作で徐々に速度を落としてから止まるようにしましょう。

## Research

より深く…

### 「急ブレーキの危険」

急ブレーキをかけたとき、後続車があるときは追突される場合があります。また、タイヤがロックされることにより、車の操縦性が落ち、前の車に追突してしまうこともあります。急ブレーキを避けるため、走行速度を把握し、安全な車間距離を保つようにしましょう。

## 5 徐行 (法2・42)

### 1 徐行の定義

徐行とは、車が**すぐに停止できる速度**で進むことをいいます。



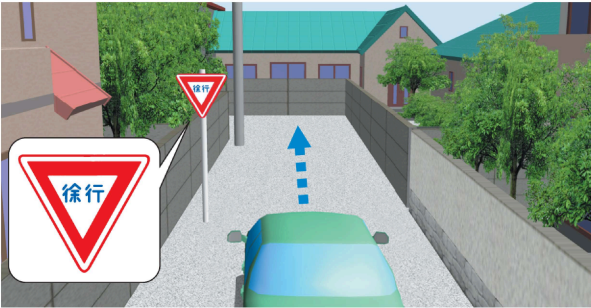
「**すぐに停止できる速度**」とは、

ブレーキを操作してから停止するまでの距離がおおむね1メートル以内であり、時速10キロメートル以下の速度であるといわれています。

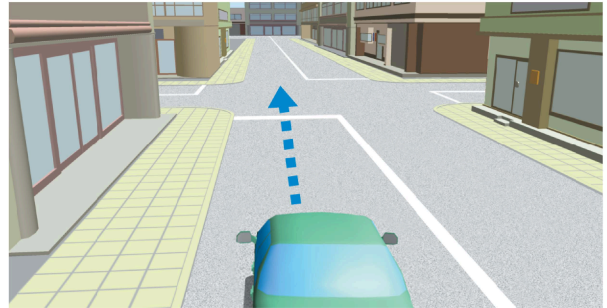
### 2 徐行すべき場所

次の場所を通行するときは、徐行しなければなりません。

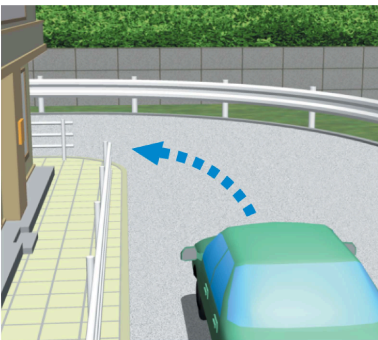
#### ① 「徐行」の標識があるところ



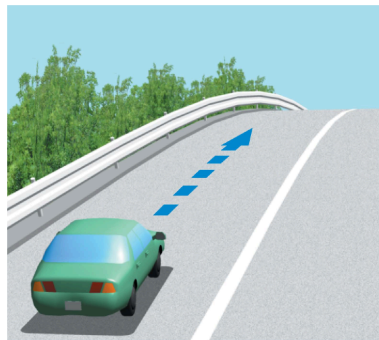
#### ② 左右の見通しがきかない交差点 (信号機などによる交通整理が行われている場合や優先道路を通行している場合を除きます。)



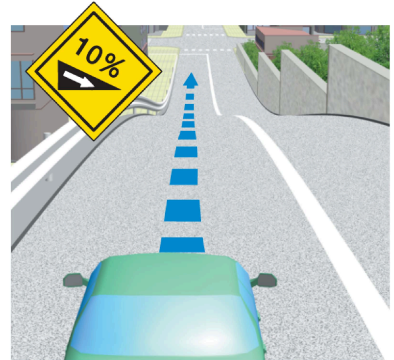
#### ③ 道路の曲がり角付近



#### ④ 上り坂の頂上付近



#### ⑤ こう配の急な下り坂



## Research

より深く…

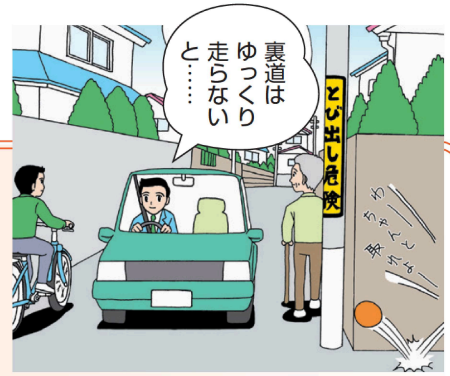
徐行すべき場所のほかに、「徐行しなければならない場合」があることに注意しましょう。

- ① 許可等を受け「歩行者用道路」を通行するとき。
- ② 歩行者や自転車のそばを通るとき、安全な間隔がとれないとき。
- ③ 交差点での右折、左折するとき (道路外に出るときも含む)。
- ④ 停車中の路面電車の側方通過で安全地帯があるとき、又は安全地帯がなく間隔が1.5メートル以上あって乗降客がいないとき。
- ⑤ 狭い道路から、広い道路に入るとき (優先道路を含む)。
- ⑥ 水たまり、ぬかるみを通るとき。
- ⑦ 身体の不自由な人、通行に支障のある高齢の歩行者又は児童、幼児の通行を保護するとき。
- ⑧ 安全地帯に歩行者がいるとき。
- ⑨ 通学、通園バスのそばを通るとき。

## セーフティエチケット

### 裏道はゆっくりと

裏道というのは、生活道路なので、お年寄りが散歩したり、道で子供が遊んでいたり、見通しが悪かったり……。このようなところでは、スピードを出して通行するのは、大変危険です!!  
すぐに停止できる速度で慎重な運転を心掛けましょう。



## ためしてみよう! ○×問題

正しいと判断したときは○の欄、まちがっている  
と判断したときは×の欄に✓印をつけてください。

問1 ひょうしき ひょうじ 標識や標示によって最高速度が制限されていても、10キロメートル毎時程度の速度超過は許される。

○	×
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問2 普通自動車の一般道路における最高速度は、標識や表示で示されていないときは、60キロメートル毎時である。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問3 一般道路で、標識や標示で最高速度が示されていないときは、総排気量660ccの普通自動車の最高速度は、50キロメートル毎時である。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問4 同じ速度であれば、危険を感じて急ブレーキをかけてから車が停止するまでの距離は路面に関係なく常に同じである。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問5 空車のときよりも、重い荷物を積んでいる場合の方が、制動距離は長くなる。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問6 ブレーキは、最初はできるだけ軽く踏みこみ、それから必要な強さまで徐々に踏みこむようにする。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問7 危険を避けるためやむを得ない場合のほかは、急ブレーキをかけてはいけない。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問8 徐行とは、車が徐々に停止できるような速度で進むことをいう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問9 上り坂の頂上付近は徐行しなければならない。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

問10 普通自動車で、車両総重量が同じくらいの故障した普通自動車をけん引する場合の最高速度は、40キロメートル毎時である。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
--------------------------	--------------------------

▶ 解答と解説は、128 ページにあります。◀